

環境経営レポート 2016年版

【2016年3月~2017年2月】

発行日 2017年9月1日

<企業理念>

安全・安心な水を通して人々の健康に貢献する

<企業使命>

- 1.水の環境と未来を守る。
- 2.水を通して人々の健やかな生活を応援する。
- 3.水・環境・健康に役立つNMTネットワークを全国に網羅する。

〈環境理念〉

ニューメディカ・テック株式会社は、浄水装置を主とする開発型企業であり、 安心安全な飲料水を供給する装置を提供することにより人々の健康に貢献します。 その行動指針を以下のように定め、実行します。

<行動指針>

- (1)以下について環境経営目標を定めて改善活動を行います。
 - ①人々に安心安全な飲料水を供給するために緊急災害用浄水装置や地下水 汚染対策浄水装置の環境性能の向上およびサービスの改善を行い、より 優れた環境配慮商品の開発、提供に努めます。
 - ②製品のライフサイクルにおいて環境に配慮し、省エネルギー、省資源、 リサイクルが容易な「ものづくり」を推進します。
 - ③地球温暖化防止のため、二酸化炭素削減に取り組みます。
 - ④循環型社会を目指し、廃棄物の削減と資源のリサイクルを推進します。
 - ⑤水資源の有効利用、水使用量の削減に努めます。
 - ⑥グリーン購入を推進します。
- (2) 現在および将来の事業活動において適用される法規や当社が約束したことを 遵守します。

制定日:2005年1月20日 改定日:2017年9月11日

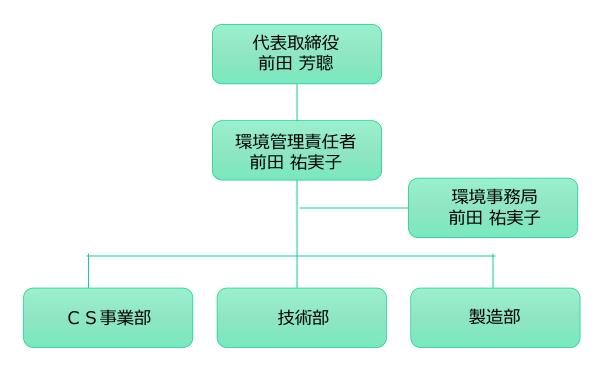
ニューメディカ・テック株式会社

代表取締役社長 前田 芳聰





環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限						
	・環境経営に関する統括責任						
代表者(社長)	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備						
	・環境管理責任者を任命						
	・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知						
	・環境目標・環境活動計画書を承認						
	・代表者による全体の評価と見直しを実施						
	・環境活動レポートの承認						
で 技 佐田 ま パ 老	・環境経営システムの構築、実施、管理、						
環境管理責任者	・環境関連法規等の取りまとめ票を承認						
	・環境目標・環境活動計画書を確認						
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告						
	・環境活動レポートの確認						
	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局						
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施						
	・環境目標、環境活動計画書原案のの作成						
	・環境活動の実績集計						
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成						
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施						
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口						
	・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)						
	・自部門における環境経営システムの実施						
部門長	・自部門における環境方針の周知						
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施						
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告						
	・特定された項目の手順書作成及び運用管理						
	・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成						
	テスト、訓練を実施、、記録の作成						
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施						
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚						
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加						

環境負荷の目標と実績

主な環境負荷の実績

※電力の二酸化炭素への換算係数は、0.45(kg-CO2/kwh)を使用しています。

項目	単位	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素総排出量 (対象:エネルギー総量)	kg-CO2	13,655	13,545	12,908
廃棄物排出量(合計 ⁾	kg	783	434	429
総排水量	m³	250	201	194

環境目標及びその実績

_	年度	基準値	201	.6年	2017年	2018年
項目		(基準年度)	(目標)	(実績)	目標	目標
南もの判定	kg-CO2	13,406	13,138	10,634	12,736	12,736
電力の削減	基準年度比	2011年	98%	79%	95%	95%
ウ新市機製の割ば	kg-CO2	6,707	6,573	2,274	5,030	5,030
自動車燃料の削減 	基準年度比	2011年	98%	63%	75%	75%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	20,113	19,711	12,908	17,766	17,766
	kg	1,117	1,061	429	1,005	949
一般廃棄物の削減 - -	基準年度比	2012年	95%	38%	90%	85%
が苦れる地は	m³	343	336	194	333	333
水道水の削減 	基準年度比	2011年	95%	57%	97%	97%
グリーン購入率 (購入金額に占めるグリーン購入の比率)	%	_	45%	57%	47%	49%

2016年度の取組				
環境配慮製品の 開発・販売促進	取組内容	結果		
	緊急災害用浄水機のデモ	0		
	家庭用浄水装置の災害対応キットの改良販売促進	0		
	使用しなくなった浄水器の下取り回収	0		
	小型浄水装置の開発	Δ		
	省エネルギー・省資源設計	0		

○⇒よくできた △⇒できた ×⇒できなかった

電力の削減

目標	実績	学
13,138kg-CO2	10,634kg-CO2	

目標に対して	▲2,504kg-0	02
2,504kg-CO2は 約179本分のC	大きく成長した木、 02吸収量になりま	đ

不要な照明の消灯・不要な電源OFF	0
定期的な蛍光灯やエアコンの清掃	0
サーキュレーターの使用	0
暖房温度(20℃)・冷房温度(28℃)の設定	Δ
LED電球使用の促進	0

大きな節電効果の期待できる事は既に行ってきたので、全社員が意識を持って、小さなことからこつこつと節電に努めました。エアコンは使用場所を限定し、サーキュレーターなどを併用することで節電効果が表れ、電力の削減につながりました。







社内啓発 P O P。特に消し忘れの多いトイレはドアにも注意喚起!







次年度の取組み内容			
電気使用量 の削減	12,736 Kg-CO2	今年度の取組みを継続し、引き続き社員全員が意識を持って節電に取り組めるよう努力していきたい。 今年からは、帰社前30分には冷暖房をOFFにし、 さらなる節電を目指して取り組んできたいと思います。	

自動車燃料の削減

目標	実績	八米
6,573 kg-CO2	2,274 kg-CO2	

社用車の利用は必要最小限に努める	0
社用車の燃費を把握し低燃に努める	0
アイドリングストップの徹底	0
急加速・急停車の防止	0
冷暖房の控え目使用の徹底	Δ
効率の良い走行ルートを心掛ける	0

目標に対して ▲4,299kg-CO2

4,299kg-CO2は大きく成長した木、 約307本分のCO2吸収量になります

社用車使用スケジュールを組めるよう、予定表を作成し社用車の使用を最小限にとどめることに努めました。社用車には、アイドリングストップ・冷暖房の調整などPOPで表示し、燃料の削減を心掛けるよう取り組み、目標達成することができました。

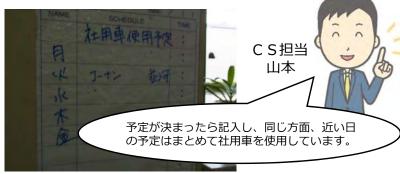














次年度の取組み内容			
ガソリン 使用量の 削減	5,030 Kg-CO2	今年も取組みを引き続き継続し、燃料の削減に努めていく。 運転者のエコドライブ教育の検討と公共交通機関使用の推 進をすすめていく。	

一般廃棄物削減

	(できまし)	
目標	実績	八米
1,061 kg	429 kg	

社内LAN、メールの活用	0
紙類の再利用とリサイクル	0
廃棄物の分別およびリサイクル	0
裏紙使用および両面印刷の徹底	0
簡易梱包化の推進	Δ
リサイクル資材の推進	Δ



送られてきた際の緩衝材、ダンボールなどを捨てずにリサイクル資材として使用し、さらに基本的なことをPOPなどを使い徹底した結果、大幅にゴミの削減につながった。リサイクルについては、ごみ箱前に分別の分かるPOPを貼って、全社員が意識して分別に取り組み、目標達成につながりました。







リサイクル資材は種類別に分けて保管後、再利用







水道水使用量の削減

	できました
目標	実績
336 m ²	194 m³

節水の呼びかけ強化	0
作業場の水の節水	0
トイレや給湯室の節水	0
製品検査時の水道水の再利用	0
製品検査の効率化による水の削減	Δ

ちいさなことから こつこつと!

大きな節水効果の期待できる事はすべて行ってきましたので、こつこつと節水を心掛けることで目標達成につながりました。



通水試験で使用した水は、トイレ 掃除や水やりに使用しています。



製造部 並河









次年度の取組み内容

水道水 使用量の 削減

333 m³ 引き続き全社員が節水を心掛けて努力していく。 節水こまなど節水グッズの導入も検討していきたいと 考えています。





グリーン購入の推進

目標	実績	
45%	57%	



機械設備の入れ替えや購入の際は省エネルギーのものを選びます	0
家電製品、機械器具、備品、用品類はエコマーク製品を選びます	0
事務用品などの購入はグリーン製品を選びます	0
使い捨て製品の購入を控えリユース可能な製品を選びます	0



グリーン購入 対象商品を 選んでいます。



備品棚には啓発POP



購入したグリーン購入の一部





グリーン購入啓発POP



次年度の取組み内容 ずリーン 購入率 47% 事務用品は、ほとんどグリーン購入対象のものを選んでいるが、細かいものが多くなかなかグリーン購入率は上がらない。今後も、啓発POPで全社員へ呼びかけてグリーン購入率をあげていきたい。

環境配慮製品の開発・販売促進

	_
① 緊急災害用浄水装置のデモ	0
② 使用しなくなった浄水器の下取り回収	0
③ 家庭用浄水装置の災害対応キットの改良販売促進	0
④ 小型浄水装置の開発	Δ
⑤ 省エネルギー・省資源設計	0





🕶 ① 緊急災害用浄水装置のデモ

海水を飲料水に浄水するデモの様子



災害用浄水機のデモを積極的に実施しています。

海水や河川水を浄水して試飲してもらうなど、実際に性能を確かめていただきます。 亜硝酸性窒素を除去できる浄水器であること、災害対策用として新水道法に適合している 唯一の浄水機であることを全面的にアピールし、販売促進に努めました。



講習会の様子

メンテしてもらってピカピカ

浄水器のみならず、「水」について知っていただくため、定期的に講習会を開催しております。当社独自の逆浸透膜のしくみや、世界の水環境、日本の水道水の現状など幅広い内容となっております。もちろん浄水器のデモ、試飲なども行い、浄水器を身近に感じていただける講習会となっています。



② 浄水器の下取り回収

今後は社内で活躍します。 美味しいお水をたくさん 作って引退した浄水器





製造部 並河

買い替え等で不要になった 浄水器は、回収して社内デ モ用や、メンテナンス期間 の貸出用浄水器として再利 用しています。



③ 家庭用浄水装置の災害対応キットの改良販売促進

改良を加え、使いやすく、便利になった点をアピール し、災害対応キットの販売促進に力を入れました。 災害時の水の大切さを訴えるとともに、継続して普及 に努めていきたいと考えています。





Point

吸水力を改良し、自吸での浄水が可能になったので、水道水以外の水を 浄水する際ポンプが不要になりました。

改良前

汲み上げ用ポンプの準備



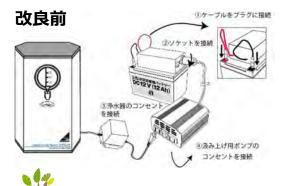




CS事業部 山本

Point **Z**

電源と本体の間にコネクターを追加することにより、インバーター (電圧変換機)が不要になりました。









技術部 神崎

本体とバッテリーをつなぐだけになったので、とても簡単!!

④ 小型浄水装置の開発

すでに小型海水淡水化装置で海水を飲み水にする技術は確立しています。 プレジャーボート、避難用ゴムボートに搭載できる小型海水淡水化装置を研究中です。 避難用ゴムボート用は、ソーラーバッテリーで浄水できるよう開発しています。



電池駆動 小型携带式海水淡水化浄水器

ボートだけでなく防災グッズ としても注目されているキャ ンピングカーなど様々な用途 に対応できるよう 研究しています!





⑤ 省エネルギー・省資源設計

当社浄水機はすべて低消費電力に設計されています! 世界初!! 小型海水淡水化浄水器 AC100V 660Wでの浄水を実現





CVR-M155J は災害対応 海水淡水化装置として、世界初! 低消費電力660W/hで1日3.7トン/1250人分もの安全な飲料水を確保できます。従来の海水淡水化浄水機の25分の1の消費電力で動作します。自動車のバッテリーや小型電池でも浄水運転ができる非常に環境にやさしい浄水機です。

世界初!! 災害発生時には小型電池により自吸浄水運転を実現。





家庭用浄水器は消費電力11W/hで1日500リットル/160人分の安全な飲料水を確保できます。災害時には携帯小型電池で6時間/90リットル/30人分の安全な飲料水を、自吸浄水できます。

普段はおいしいお水の 作れる浄水器として お家で使えますよ!

総務 小倉

当社の浄水器を使用するとCO2を削減できます。

水道未普及地域に浄水場を建築すると		当社製品	コストパフォーマンス		
	1浄水場当り	約9億2,480万円			
净	(水道水1t当りの建設費)	(約519円/ t)	約39万円		
小	1世帯当りの	867L/日		当社製品は、浄水場建設費の約24%で、飲料水の供	
水道設備	年間水道使用量	316 t /年	10ケ眼冷むした担合のコイ		
備	1世帯当り10年間給水した	10年間浄水した場合のフィー		給が可能	
	場合の建設コスト	נוכלדסדניוי	/// XIXACIO		
電	1世帯(平均3人)当りの	271.2 k Wh/年 12 k Wh/年 ^{当社製品は、浄}	当社製品は、浄水場電力の約		
カ	年間電力使用量	2/1.2 K WII/+	12 K VVII/ +-	4%に削減可能	
1世帯当り年間		206.5kg-CO2	2.3kg-CO2	当社製品は、二酸化炭素排出量を	
	二酸化炭素排出量		2.5kg-CO2	約1%に削減可能	

次年度2017年度の取組目標			
	取組内容	内容	
	緊急災害用浄水機のデモ、防災・BCPの普及啓もう	12回/年	
	低消費電力小型浄水装置の開発改良販売促進	目標H30年	
	サービスの改善、修理時の貸出浄水器の整備、加増	2 0 台	
	低消費電力小型海水淡水化装置の開発	開発着手	
	環境性能向上、省エネルギー・省資源設計	2機種見直し	

環境関連法規制等の順守状況

適用される法規制	適用される事項 (施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法 廃棄物関連条例	一般廃棄物、金属次゛(売却)
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫、エアコン
水道法	井戸水汚染地域での浄水器使用
グリーン購入	事務用品の購入
下水道法	生活排水、フィルター洗浄水
自動車リサイクル法	営業用乗用車

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

教育・訓練

教育・訓練の目的

・本業の社会的意義への理解を深めることを目的とし、社員全員が環境問題に 関する一般的知識を身につける。

教育訓練実施記録

	動命会	実施年月日:	2016.05.16
教育方法:		時間:	13:00~
		P() [E] .	15:00
件名:	環境問題に関する一般的な知識を身につける		
実施場所:	事務所		
訓練担当者:	前田		
			ためけしナフ
内容(要点):): 工コ検定合格を目指す。環境白書、エコ検定テキスト、キーワード集を教材とする。		







有効性の評価: 毎年1名、エコ検定合格を目指し、月に1回定期的に勉強会を実施する。

緊急事態対応訓練

火災が発生 緊急事態の想定:

■実施日: 2016年11月24日

■実施場所:

■実施内容:避難訓練

■評価:

■参加者:

手順書の変更の必要性 □ あり

☑ なし

火災が発生したと想定し、火災発生手順書に従い消火活動・避難の訓練を行った。

前田、神崎、並河、西本、比嘉、小倉

消火器の使い方の説明など、実践的な訓練が行えた。

問題点として、作業場の荷物の整理整頓が必要と思われる。

■実施状況の様子







緊急事態の想定: 南海トラフ地震が発生

2016年11月24日 ■実施日: ■実施場所:事務所前、避難所

■参加者: 前田、神崎、並河、西本、比嘉、小倉 ■実施内容:避難訓練及び断水時の水の確保

■評価: 手順書の変更の必要性 □ あり ☑ なし

地震・津波が発生したと想定し、緊急避難場所までの経路及び時間の確認

及び断水を想定して当社浄水器による飲料水の確保訓練

緊急避難場所までの経路が実際に行ってみると複数あり、

状況に応じて数通りの避難経路を予め想定しておく必要あり

■実施状況の様子







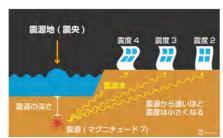
マグニチュードが1増えた場合、地震波のエネ ルギーは約何倍になるでしょうか?

正解は、1増えると30倍になり、2増えると約1,000倍にもなります。

「マグニチュード」は、地震そのものの大きさ(規模)を表し、

一方「震度」は、ある地点での 揺れの強さを示したものです。 マグニチュードの小さい地震でも 震源からの距離が近いと地面は 大きく揺れ、「震度」は大きく なります。





事業継続に向けた取組みの目標と基本方針

ニューメディカテック株式会社では、「万が一の大災害や事故」が発生した場合に、それによる被害を最小限に抑え、事業をすぐに復旧し継続できるようBCP(事業継続計画)を策定しています。

●事業継続に向けた活動の目標

自社における活動目標

大規模地震等の不測の事態発生時においても、社員の安全を守り、お客様が求める 安全安心な飲料水を提供できる高性能、高品質な浄水機の安定供給、および迅速な事業の再開・復 旧を可能とする能力の獲得及び継続的な事業継続の強化を目標とする。

●取り組み実施の基本方針

自社における取組の基本方針

- ① 人命第一を旨として、社員と社員の家族の安全と生活を最優先とする
- ② 地域社会の安全に貢献する
- ③ お客様への影響を極力少なくするために供給を継続、またはできる限り早期に再開する
- ④ 定期的に教育・訓練を繰り返すことにより、取組の課題を明らかにし迅速な行動能力の 継続的強化につとめる。

●事業継続マネジメント体制

BCPの計画策定、事前対策や教育・訓練の推進、定期的な点検・是正を平常時から行う体制として、経営会議の下に事業継続マネジメント体制を整備し、BCM事務局が平常時における事務局機能を担うものとする。

	役割名	3	担当	主な役割・機能
	B C M 事務局	B C M 責任者	代表取締役 前田 芳聰	・BCPとBCM方針の承認 ・設備・人員・予算計画などの経営資源の割り当て ・BCM進捗状況把握と評価 ・必要なメンバーの任命と権限付与
BCM推進会議		BCM 事務局長	常務取締役前田 祐実子	・B C M推進 ・B C M進捗状況の把握・経営者への報告 ・予防処置や是正処置のフォローアップ ・教育訓練の計画と実施
	B C P 対策チーム メンバー		非常時体制表における部門責任者	上記の事務局長を補佐し、実施を支援 ・自部門のBCM推進 ・BCM進捗状況把握と評価 ・対策の実施 ・教育訓練の実施

事業継続計画(BCP)

備えるべき脅威の種類と被害想定

大規模地震、新型感染症、噴火、火災、テロ攻撃など様々な脅威のある中で、当社としても最も備えるべき脅威として優先的に大規模地震を前提とする。

ただし、その他脅威についても、今後の継続的改善のなかで必要に応じて検討を進める。

地震の種類	30年以内発生確率	予想される震度	津波被害
南海トラフ地震	70%の確率	震度6弱	あり 浸水最大 2 メートル
上町断層帯地震	50%の確率	震度 5 弱	なし

感染症・気象・火災	発生確率	予想される被害	対策	
超大型台風	夏季・秋季	浸水害、風害	土のう	
感染症	冬季・春季・夏季・秋季	地域での集団感染	塩素剤	
火災	火災 随時 類焼		消火器	

事業継続戦略

事業継続戦略とは、災害等の危機事象発生時に事業継続のために必要な重要業務及び 目標復旧時間を達成するための、状況に合わせた複数の対応手段である。 事業継続戦略の発動とは、発生した状況に合わせて最適な対応方法(戦略)を決定す る発動権限者の意思決定を指す。

事業継続戦略	戦略を発動する状況
復旧戦略	軽微な被害(5日以内に出荷、現地生産再開可能)の場合には本社工場復旧
代替戦略	甚大な被害(5日以内に出荷再開は困難)の場合には協力会社にて代替出荷
お互い様戦略	甚大な被害(5日以内に現地出荷再開は困難)の場合かつ代替地での出荷が困難な場合には、株式会社フォレストホームサービスに代替輸入いただき出荷依頼する。

会社で仕事中に突然地震!! あなたはどうする??

地震発生時は「3ないエリア」に移動せよ!

地震発生時の原則は、物が「落ちてこない・倒れてこない・移動しない」の 「3ないエリア」に移動して揺れが収まるのを待つこと。

特に気を付けつるのは、FAXなど下に車がついているOA機器や、大きな窓ガラス。揺れを感じたらすぐに離れましょう。

普段からの備えは

- ・非常口、非常階段のチェック
- ・会社にも非常持ち出しリュックを!
- ・会社から自宅への避難経路の確認

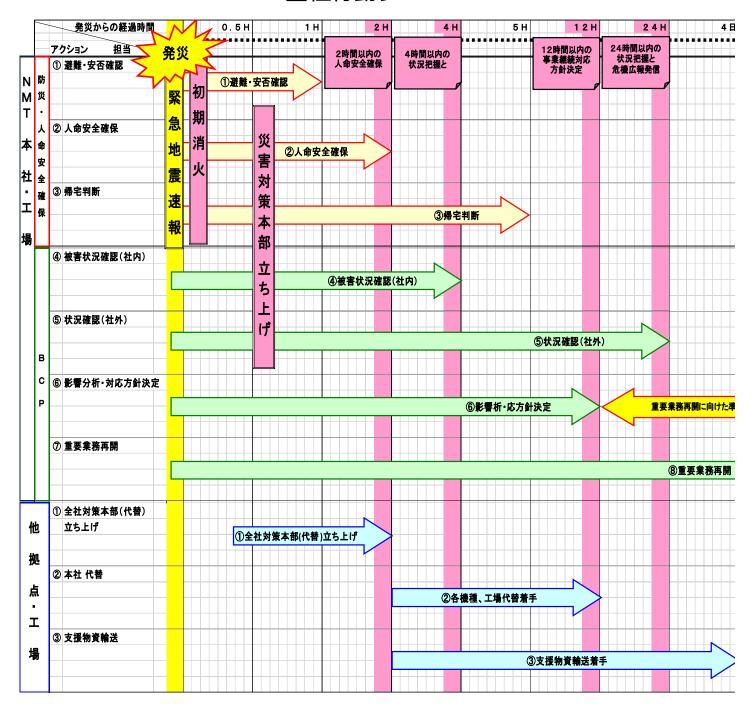


非常時における対応行動手順

機能	役割名	役割内容		
		災害対策本部の意思決定・統制監督に関する全ての責任を持つ。 事業継続戦略の発動権限を有する。		
	副本部長(代行順位 1) 常務 前田 祐実子	対策本部長を補佐する。		
I	事務局長(代行順位2) 課長 〇〇	対策本部長を補佐し、対策本部の迅速かつ効率的な運営を行う。		
<u>位置付け</u> 本部長を中心に全社の人命安全確 保及び事業継続に関する全社の対 応行動を統括・支援する。	 情報収集分析班 リーダー ○○	対応に必要な情報を迅速に収集・整理・記録し、対策本部としての重要な意思決定に関わる状況分析及び本部長への進言を行う。		
	月牧理給班 1	非常時の通信手段を確保し、社内・社外への対策本部からの情報発信及 び受信を行う。 危機広報		
		本部及び各担当の迅速な行動のための支援(必要な資材・備蓄品の調達及び輸送など)を行う。		
	防災指揮者 課長 〇〇	状況把握と防災対応の指示及び対策本部事務局への報告を行う。		
	安否確認班 常務 前田 祐実子	従業員及び家族の安否確認を行う。		
 防災チーム	位松 叫出福丰千	非常時の通信手段を確保し、社内及び社外関係機関(消防・警察・病院 など)との連絡を行う。		
<u>位置付け</u>	初期消火班 リーダー 〇〇	初期消火・警察消防との連携、重要持ち出し品の退避を行う。		
非常事態発生時における社員及び 家族、地域住民の安全確保を目的 に、安否確認・人命救助・二次災	避難誘導班 リーダー 〇〇	避難経路の確保及び避難誘導を行う。		
害防止等の行動を指揮、実施する。	救護班 ○○	負傷者の救護・手当・搬送を行う。		
	滞留者支援班 ○○	滞留者支援(滞留場所確保・備蓄品配布・その他支援) →時間経過に伴い他班より要員を振り分ける。		
		防災戸閉鎖・非常用電源確保・危険物管理・警戒区域の設定・出入り口 管理等を行う。		
	事業継続指揮者 社長 前田 芳聰	被害状況の把握と対応行動指示を事務局と連携して実施する。		
		需要情報(出荷計画・生産計画・顧客被害情報等)と供給情報(被害状況・在庫状況・復旧見込み等)を整理し、再開方針を立案する。		
を目的に、被害状況把握・対応方	顧客対応班 ○○	顧客及び競合社情報の収集と復旧再開に向けた顧客調整を行う。		
	物流対応班 リーダー 〇〇	物流に関する情報収集及び物流手段確保に向けた対応を行う。		
	調達・取引先支援班 リーダー 〇〇	取引先被害情報の把握と支援活動、必要に応じて代替取引先の調査を行う。		
		設備や施設に関する被害状況及び復旧見込みを把握し、必要に応じて代 替手段の検討を行う。		
		被害による財務的な影響(短期・中長期の収益)把握と資金調達の検討 を行う。		

事業継続計画(BCP)

全社行動フロー



"3つの約束"で「もしもの備え」

突然の大地震。「もしも」の時にとるべき行動や集合場所、連絡方法を家族や 大切な人と話し合っていますか?

もしもの時に備えて、決めておきたい約束は次の3つです。

◎地震の時どう動く? ◎どこで会う?どう逃げる?◎どう連絡を取り合う?

突然の災害時に落ち着いて行動することは非常に困難です。

だからこそ、落ち着いて考えられるうちに、とるべき行動 を頭に入れておきましょう。

そして、災害時には最優先で自分の命を守ることを忘れずに。

事業継続計画(BCP)

行動チェックリスト

≪ 8.3.2 B	CP行動手順・チェックリス	ト》	ニューメディカ・テック株式会社 策定:2016.2.16	更新No.:	5	i		
事務局		事務局		更新日:	2017.06.19			
目標	(完了状態)	事業継続対応方針が決	定されている		目標時間	241	1	
NO. 社内の被害状況確認	アクション項目 (目的)		アクションの実施手順 (具体的内容) 製品在庫状況の確	リソース (関係者、文書、物、施設など) ・在庫チェックリスト	担当者 (指示者)	所要:時間	深積 : :	完了確認
⑤(現状の生産能力、復旧見込み)			認・工場完成品、仕掛品、イントラ(製品)、倉庫製品在庫確認・ ・顕客製品在庫、流通在庫確認 製品在庫の出庫可否の確 認	・設備確認チェックリスト	設備復旧班		4h	
			・電力供給の可否確 ・物流の稼働状況確認 生産可能性の確 認	・設備確認チェックリスト・システム確認チェックリスト	設備復旧班			
			・職員等の出社可否確 ・ 各建屋・設備の被害状況、稼働可否確 認 ・ 二次被害防止策を実施(漏電、燃料漏洩等) ・ ア と類の正常駆動・使		設備復旧班 電算・通信 班			
			- 本等確認					
	《 8.3.1 BCP行動手順・ 部門	チェックリスト 》	ニューメディカ・テック株式会を 2016.2.16 防災チーム		新日: 2017.0	5		
目標	(完了	犬態)	人命の安全確保		目標		5 h	
NO.	災害発生	アクション項目 (目的)	アクションの実施手順 (具体的内容) 初期消	リソース (関係者、文書、物 など) ・役割分担表	担当、施設 (指示	17/13	要 累積 時間	完了確認
1	火告光工		が3000 火 ・自衛消防隊の組成による消火活動及び の連絡 自部門の地震発生時対策を実 施		自衛消			
	避難・安否確認 災害対策本部立	: : :上げと役割分掌	 ・社内放送、持ち出し物、火気確認等 (事務所棚 PC→山本) (消火器・発電 崎) 【フィルター→並河) 対策本部立上げ指 示 		全		0.5 h	
2			・対策本部設置場所の決定、対策本部用 調達 ・対策本部を立ち上げた旨の社内外通達 本部職員に役割指示とタイムライン提 示	・本部要員の能力適ト	社	E .	1h	
			・必要な役割の確認、災対本部要員への 代替要員の要否判断・指示 ・災害情報の把握(ラジオ・防災無線等 情報を確認) 拠点間の連絡手段を確保、連絡要員を配	がら津波	本音 社	長 長		
			画 ・拠点間の連絡手段確保 ・短川用不能の場合)代替	転車	災害対			
≪ 8.3.3 Be	CP行動手順・チェックリス	F.»	ニューメディカ・テック株式会社 策定:2016.2.16	更新No.:	5			
279条		事業継続チーム		更新日:	2017.06.19			_
目標	(完了状態)	緊急対応・部材の出荷	†		目標時間	5	B	
NO. 事業継続指揮者	アクション項目 (目的)		アクションの実施手順 (具体的内容) 被害状況の把握と対応行動指示を事務局と連携して実施する。	リソース (関係者、文書、物、施設など) ・要員のリスト ・連絡手段	担当者 (指示者)	所要 累時間 昨	詩間:	完了確認
生産管理班			需要情報(出荷計画・生産計画・顧客被害情報等)と供給情報(被害	・設備確認チェックリス	社長		8h 2日	
9		- - U	状況・在庫 状況・復旧見込み等)を整理し、再開方針を立案する。 実行可能な複数の生産計画案の作成 設備や施設に関する被害状況及び復旧見込みを把握し、必要に応 こて代替手段 の検討を行う。	ト ・構内配置図	課長			
取引先支援班			取引先被害情報の把握と支援活動、必要に応じて代替取引先の調査を行う。	通信連絡手段の確認	リーダー			

教育・訓練

教育・訓練の目的

・訓練は、事業継続性強化の重要性の周知、不測の事態発生時における緊急時対応 およびBCPを確実に行うことを目的として実施する。

部門における教育・訓練

・BCM事務局は全社員に対する教育・訓練計画を定め、定期的に教育・訓練を実施する。

BCP教育訓練実施記録

教育方法:	勉強会	実施年月日:	2016.08.19			
		時間:	13:00~14:00			
件名:	災害後の必要最低限の復旧に備えた必要備品等の保管方法と保管場所についての検討					
実施場所:	事務所					
内容(要点):	災害発生後に最低限の最重要業務の早期復旧の為にバック 備蓄と保管方法、保管場所についての検討	アップ的な備品	in i			









有効性の評価: BCP行動手順・チェックリストに基づき行動しました。

通常業務においても何が何処にあるのか部材整理の明確なルールがなく 統一した運用ルールを決めて、誰でも分かるようにする必要あり

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きています。生物多様性条約では、遺伝子の多様性・種の多様性・生態系の多様性という3つのレベルで多様性があるとしています。

ニューメディカテックは、環境貢献活動として生物多様性の保全に取り組んでいます。



遺伝子の多様性

同じ生きものの種類の中にも、遺伝子による違いがあること(形,模様,生態など)



種の多様性

生態系の多様性

さまざまな種類の生きものが生息・生育していること(動物,植物,菌類など)



さまざまなタイプの自然環境があること (森林, 草原, 川, 池, 沼など)



ココクイズ

台所の流しに油をスプーン1杯分捨てたら、きれいな 水に戻すのにどれだけの水が必要になるでしょう?

正解はお風呂10杯分 3トン!

フライパンやお皿に残った油をそのまま流しに捨てると下水処理で水をキレイにする役割を持った微生物までその油で殺されてしまうこともあります。たったスプーン1杯の油でも、その水を再生するにはお風呂10杯分、およそ3トンもの水が必要になってしまいます。



生物多様性の危機

現在、野生生物の数は、約140~180万種。

しかし、予想される未知の生物の種を含めた種数は、実に1,000万種にのぼるといわれ、そして毎年、その数全体の0.01%~0.1%が、絶滅していると科学者は警告しています。その速さは、人間が関与しない状態で生物が絶滅する場合の、1,000倍から1万倍になるといわれています。今、この世界で起きている生物多様性の喪失が、きわめて大規模で、深刻であることがわかります。



自然環境の破壊と汚染

資源の過剰な使用

外来種

地球温暖化



私たちにできること

ニューメディカテックでは、利用している製品が、どこで、どのように作られ、手元に届いたのか、関心を持って日々の生活や仕事をするよう呼び掛けています。もちろん家でも家族と一緒に考えています。それがもし、自然を壊して作られたり、加工のプロセスで環境を汚染したりしているものだった場合、その製品を利用するべきかどうか、よく考えることが必要です。



社員だけでなく、来社した方にも見てもらえるよう 受付前の掲示板に啓発POPを貼っています。



恐竜時代では、1年間に0.001種、1万年前では、1年間に0.01種 100年前からは、1年間に1種の生物が絶滅してきました。 多くの生物が絶滅の危機にさらされてる現在、1年間に何種の 生物が絶滅しているでしょう?

正解はなんと、1年間に**4万種!** 毎日100種の速さで絶滅が進んでいます。

絶滅してしまった生物は、もう元には戻りません。 生き物を絶滅から守るために、また、絶滅させないため に私たちができることを考えてみましょう。



ジャイアントパンダは地球上に わずか1600頭

MY活動宣言

ニューメディカテックでは、できることからはじめています。

環境省「生物多様性を守るためにわたしたちにできるアクション MY活動宣言」 を全社員が宣言し、活動を推進しています。



たべよう

地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。



Act 2

ふれよう

自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね 自然や生きものにふれます。





ふれよう

自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。





まもろう

生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。





えらぼう

エコラベルなどが付いた環境に優しい 商品を選んで買います。









自然の中で出会った素晴ら しい景色をSNSで発信して います。

CS担当 山本

子供たちが自然や生きものに ふれあえるよう、キャンプや 公園にでかけています!





総務 小倉

すいた「環境教育フェア」に出展しています。

毎年、吹田市で開催される「環境教育フェア」に出展し、水の大切さや、きれいな水を 守るためにできることを、子どもたちに伝えています。

毎年、たくさんのこどもたちが参加して、環境や水について学んでいます。 これからも継続して活動していきたいと考えています。









奈良県矢田山、循環型里山活動 に協力しています。

奈良山田山において実施されました 「雨水飲用化プロジェクト」におきま して、当社浄水機が採用されました。 貯水した雨水を安定して飲用水として 提供できることが証明されました。 エコアクション 2 1 1 0 周年記念大会にて 表彰されました。

長年の取り組みと地球と地域の環境保全 への貢献が認められ表彰されました。





環境分析と戦略フレームワーク



NMT-SWOT分析

■ 外部環境(社会、経済、競合環境)

■ 脅威 (Threats)

- ▶ デフレ経済の浸透
- > 円安による仕入れコストの上昇
- ▶ 大手企業の浄水機ブランドが存在
- ▶ ノウハウの流出、コピー品の出現
- ▶ 浄水機=胡散臭いものというイメージ
- ▶ ネット上のデマ被害に合うリスク
 - 内部環境 (組織内部)

■ 機会 (Opportunities)

- > 新水道法に亜硝酸態窒素の基準が設けられた
- ▶ 水関連ビジネスのマーケット拡大
- > 国土強靭化等、防災関連予算の充実
- > 政府施策、補助金制度の充実
- > 中小企業のBCP取組みへの意識の高まり
- ▶ 国土強靭化貢献団体認証「レジリエンス認証」 の高まり
- > 競合製品の欠点を確実に指摘できる

■ 弱み (Weaknesses)

- ▶ 営業体制が手薄
- > 会社としての知名度が低い
- ▶ 資金難により取引条件が厳しい
- ▶ 少量受注生産により原価率が高い
- ▶ 製品上代が高い
- ▶ ブランディングが弱い
- > 販路が国内のみ
- ▶ 理解してもらうために長い説明が必要
- > 将来の幹部育成、ノウハウの承継問題
- ▶ 資料の種類が多い

■ 強み (Strengths)

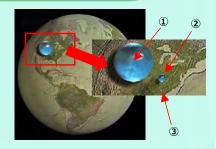
- ▶ 浄水に関して世界最高レベルの技術力を 有する亜硝酸態窒素を除去できる
- ▶ 防衛省の浄水コンテスト最優秀賞受賞
- ▶ 東日本大震災、熊本震災で実際に使用された
- ▶ 省電力設計で災害時に電源がなくても使用可能
- > 井戸水の浄水で20年間無事故
- ▶ 飲料水として20年間保存可能であることを証明
- ▶ 官公庁、有名料亭、著名人に納入実績がある 社長のTV出演多数
- > プレゼン、技術等の資料作成に長けている



水の惑星といわれている地球ですが、 実際に飲み水として使えるのは何%?

正解は地球上の水のわずか 0.8%!

地球上の水の97%は海水。残り3%が淡水ですがその7割は氷です。 人間の手が届かないほどの深い地下水や汚染されておらず、飲み水 として使えるのはわずか0.8%ほどになります。蛇口をひねれば飲 める水が出てくるということは、ほぼ「奇跡」だと言えます。



水色の球体が3つ。①は地球上にある全水量、②は氷河や地下水などの量③が飲める淡水

環境分析と戦略フレームワーク



NMT - DDASWOT 2

■ 強み × 機会 = 強みを活かし、チャンスをモノにする方法

- ▶ 亜硝酸態窒素を除去できる浄水機であることを全面にPRし、他社製品との明確な差別化を図る。
- ▶ 災害対策用として新水道法に適合している唯一の製品であり、東日本大震災、熊本震災で実際に使用された実績をPRし、防災関連予算需要を獲得する。
- ▶ 飲料水として20年間保存可能である保存性の高い水をボトリングし、飲料水、産業用、工業用として 販売する。

■ 強み × 脅威 = 強みを活かし、脅威の影響を受けないようにする方法

- ▶水道法に新たに設けられた亜硝酸窒素の除去ができる唯一の浄水機であることを明確にし、性能の違いから高価格であることを理解してもらう。
- ▶ 著名人、有名料亭などの導入実績から、知名度はなくとも「違いの分かる人が選ぶ本物の浄水機」であると訴求する。

■ 弱み × 機会 = 弱みを克服し、チャンスを逃さない方法

- ▶ メディアに扱われやすく、消費者の注目を集めやすい商材である飲料水(備蓄用、ペット用)を新発売し、テレビ通販ほか多様なメディアを利用した販売活動を行うことで、会社としての知名度アップを図り、浄水器販売を有利に進められるようにする。
- ▶ 海外販路開拓を行い、水道水の飲めない国・地域などの水関連マーケットシェアを獲得しいく。

■ 弱み×脅威 = 弱みを克服し、脅威の影響を受けないようにする方法

▶ 調達ルートの見直しを行い、原価率を低減させ、上代を抑えた製品ラインを新たに構築する。

エコクイズ

ゴミを燃やすと発生する猛毒ダイオキシン。 日本のダイオキシン排出量は世界で何番目?

正解は世界で1位

日本は一人1キログラムのゴミを毎日出しており、一家庭から年間で1~2トンのゴミが出ており、ゴミ焼却場数はずば抜けて世界一、焼却量はヨーロッパの10倍以上、ダイオキシン排出量も世界一なのです。燃やせばダイオキシン、埋めれば土壌汚染、ゴミを減らす努力を一人ひとりが心がけることが大切です。

ダイオキシンの毒性は サリンの2倍 青酸カリの1万倍



環境経営における課題と今後の計画



生産展開・営業展開・メンテナンスサービス展開の確立

心臓部となるフィルター生産は国内製造

営業体制の強化・構築が急務

生産 国内・海外 製品設計 製造・品質管理

呂耒 (内.海*)*

国内・海外

事業計画 ビジネスモデル構築

メンテ・サービス

国内・海外 サービス拠点の構築

販売代理店 国内·海外

各地の水道関連業者を開拓・提携

NMT

企画·開発

研究開発・評価試験 プロトタイプ設計・試作

製品開発、ノウハウ、特許

- ◆ N M T 社の問題点
- ① 過去の係争により、築き上げた生産部門、営業部門を失った。
- ② 経営の立て直しを図っているが、人材不足・資金不足のため、 長期間にわたって経営が低迷している状態にある。
- ③ 後継者不足により、会社の存続には第三者のご支援、ご協力が必要になっている。
- ◆ご支援先との業務提携とNMTの役割
- ■ご支援先
- 国内外の販売網・生産拠点強化をおこない、技術立国 「日本」で生まれた、どこにも負けない、オンリーワン商品の 普及拡大を目指す。
- NMTの役割
- 今までに培ったノウハウを活かし、商品開発に専念する。
- 新興国への安全・安心な水提供での貢献。
- 人類への「いのちを守る水」での貢献。
- 国土強靭化貢献団体としての貢献、オリンピック貢献。
- 人口減少地域での水道事業、災害、医療、広まる 亜硝酸対策、深刻化する「水」の枯渇、真似のできない小型海水淡水化 浄水器等の開発・市場投入により社会に貢献する。

代表者による評価と見直し

実施日:2016年6月18日

ニューメディカ・テック株式会社 代表者 前田 芳聰

■代表者レビュー

エネルギー・廃棄物の削減は、すでに削減余地がなくなりつつある中、社員個々の 自覚的行動により、自主活動が増えてきていることから、エンドユーザー、代理店 に対しても環境経営の支援策の一つのツールとして当社製品の普及推進が環境経営 に直接つながり始めている。

水道の未普及地域でのメンテナンスも少しづつではあるが、地元代理店の育成、メンテナンスの移行によりガソリン使用量も抑えられている。さらに、直接のメンテナンス地域も多いため、社用車についてアイドリングストップ、低燃費の車両を導入した。

◆環境経営方針 □変更なし □変更あり

◆環境経営目標・計画 □変更なし □変更あり → 今後の実績を踏まえ見直す

◆実施体制 □変更あり □変更あり

■目標・計画の達成状況

1年を総括して、達成状況は堅調に推移している。

【今後の計画】

社内→照明器具のLED化や省電力浄水装置の開発を進めていく。

社外→防災・BCP対策浄水機としての普及推進

環境配慮商品の拡販による実績作りや今後は会社内のLED化や省電力 浄水装置の開発を進めていく。

福口	基準年度(基準年値)		実績	※削減目標			
項目			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
電力	2011年度	13406Kg-CO2	▲ 79%	▲80%	▲81%	▲82%	
ガソリン	2011年度	6707Kg-CO2	▲34%	▲35%	▲35%	▲37%	
事業系一般廃棄物	2012年度	1117Kg	▲39%	▲ 44%	▲ 49%	▲ 49%	
紙くず・段ボール(リサイクル率)	2011年度	80%	85%	85%	85%	90%	
水使用量の削減	2011年度	343m³	▲ 57%	▲ 59%	▲ 59%	▲60%	
グリーン調達率	2011年度	45%	57%	59%	60%	62%	

■今後の課題

さらに、南海トラフ地震災害に備え防災意識の高まり、国土強靭化基本法などの推進により「公助」から「共助」「自助」へと防災市場ニーズも急拡大している。また、企業のBCP(事業継続計画)の推進もあることから、今後は、さらに安全な水を提供できるよう家庭用浄水器を災害対応型に、なおかつ災害対応浄水機を、国民の健康福祉社会、過疎地域の生活に貢献し、環境問題に対して積極的に取り組んでいる事例の情報発信に努めていきたい。

地域の防災活動に参加しています

当社は、地域の防災活動や環境活動に積極的に参加し、水の大切さをお伝えしています。

当社の浄水器は、低消費電力で動作する環境配慮型で、災害等の非常時にも、ソーラーや車のバッテリーから水質基準をクリアした安全な水を作ることができます。

浄水器を準備しておけば、大量の水を保管しておく必要もなく、ゴミの削減になり、衛生的で環境に やさしい防災対策になります。

地域の方や参加した子供たちが、普段は当たり前のように使っている水の大切さを知り、貴重な資源であると実感することで、環境に配慮する第一歩になれるよう積極的に参加しています。

水にかかわる会社として、水の大切さを伝えていくことで環境に貢献していきたいと考えています。

2016年11月

大阪府堺市 英彰校区自主防災訓練に参加しました



防災訓練に参加して、浄水器のデモを行い実際に浄水したお水を飲んでいただきました。

2016年11月 関大防災DAY 2016~広がれ!みんなの安全・安心!に出展しました。



千里山キャンパスに出展し、浄水の実演と試飲を行い、たくさんの方にお越しいただきました。

2016年4月

熊本地震 南阿蘇村避難所へ給水支援に行きました。



大阪赤十字病院 国際医療救援部より給水支援の打診があり「愛知県 防災・エコ設備普及協会給水支援隊」と連携して、南阿蘇村に向け給水支援に出動しました。

給水支援のほか、浄水で殺菌水をつくり、南阿蘇村体育館避難所の出入口に消毒用蛇口として 5か所設置、殺菌水を蛇口から供給し、ノロウイルスの集団感染拡大を防ぎました。

給水支援浄水機から次亜塩水供給装置として刻々と変わる被災地の要求に対応する万能浄水機 として活躍しました。



南阿蘇中学校 医療基地施設「ホスピタルdERU」



給水支援の様子





ノロウイルス集団感染防御のため殺菌水を作り、消毒用蛇口を設置して次亜塩素水を供給しました。





南阿蘇村の方々へ維持管理・メンテナンスの説明を行いました。

おいしい水との出会い



クリスタル ヴァレー浄水機



ニューメディカ・テック株式会社